

健康とリハビリテーション科学 投稿規定・執筆要項 (2025. 3. 27)

投稿規定

1. 健康とリハビリテーション科学の目的

健康とリハビリテーション科学（以下、本誌）は、論文を通して人々の健康や Well-being への寄与および理学療法・作業療法が発展することを目的としており、これらの内容に関する投稿を特に募集いたします。

2. 投稿者の資格

- 1) 学校法人土佐リハ学院（以下、本学院）の教員もしくは非常勤講師が筆頭または共著者であるもの。
- 2) 未来健康創造研究センターの客員研究員
- 3) 本学院の卒業生（但し、本学院教員が共著者であるものに限る）。
- 4) その他、高知健康科学大学学術倫理委員会内編集委員会（以下、編集委員会）が認めたもの。

3. 責任著者

投稿する論文について一番熟知しており、掲載後に論文の責任者として問い合わせを受ける著者とします。

4. 倫理的事項

著者は、ヘルシンキ宣言および文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を参照に基づき、研究対象者の人権尊重を十分に留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。また、原則、所属機関等の研究倫理審査を経ている必要がありますので、倫理審査を経ている場合は承認番号（ない時は承認年月日）を登録してください。インフォームドコンセントについては本文中に記載してください。

5. 利益相反

論文に関連する企業や営利団体等との利益相反（COI）のある場合は明記してください（厚生労働省の「研究に関する指針について」を参照）。また、助成金（資金援助）を受けた場合は、それが特定できる番号を登録してください。

6. 著作権

掲載された論文の著作権（著作人格権、著作財産権）は本学院に帰属します。著者は本学院が公益事業に役立てるために行う掲載論文の複写・複製・翻訳・翻案・要約および第三者への転載許諾の権利を譲渡するものとします。

7. 論文の種類と長さ

1) 総説

国内外の本誌の目的および関連する医療・保健・福祉の動向、政策、潮流など時宜に適った話題に関する総括的解説および提言。過去の研究を概観し、将来的展望を視野においた組織的な論評および総括。論文は論文テンプレートに準じて記載し、長さは6～8枚とします。図・表は6点以内とし、図・表がある時は大きさにより、本文と文献の文字数を減らしてください。図・表の基準は執筆要項2-8)を参照してください。

2) 原著論文

実験、調査、臨床経験、理論研究などから得られた独創的で斬新な知見を含む結果の考察及び記述。論文の長さ、図・表は総説に準じます（図・表がある時は大きさにより、本文と文献の文字数を減らしてください）。

3) 実践報告

特色ある理学療法・作業療法の実践（事例報告を含む）に焦点を当てた報告。治療手段としての活動、道具、

情報、アイデアの紹介。論文は論文テンプレートに準じて記載し、長さは4～6枚とします。図・表は4点以内とし、図・表がある時は大きさにより、本文と文献の文字数を減らしてください。

4) 短報

独創性のある所見、見解の速やかな発表を期待するパイロット的研究報告。論文の長さ、図・表は実践報告に準じます（図・表がある時は大きさにより、本文と文献の文字数を減らしてください）。

8. 執筆要項

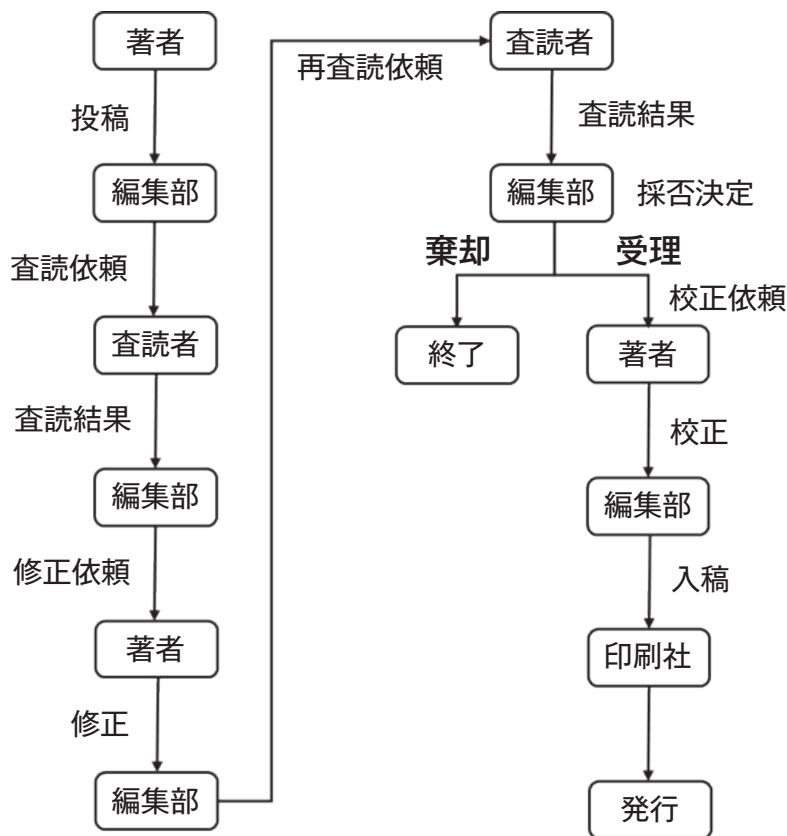
「執筆要項」を参照に記載してください。

9. 原稿提出締め切り

各年度10月末。それ以降は次号掲載となります。

10. 採否

投稿原稿の採否は、査読員の結果をもとに編集委員会で決定します。査読は、編集委員が依頼した3名の査読員（学外の専門家を含む）により行います。原稿の修正を求められた際には、原則1回のみ修正依頼日から3週間以内に修正論文を再提出し、再度査読員に査読を依頼します。3週間を経過しても修正論文が再提出されない場合には、審査が打ち切りとなる場合があります（フローチャート参照）。



11. 校正

採否決定にて投稿論文が受理された場合、印刷前に原則1回校正確認を行います。校正は著者本人が行ってください。

12. 掲載

受理論文の記載は論文の種類および完成稿入稿の日付順とします。

13. 投稿手続き

1) 執筆形式

テンプレートファイルがありますので、それに沿って執筆してください。テンプレートファイルは問い合わせに記載しているメールアドレスに連絡いただくとお送りいたします。また記載の際には雑誌投稿状態を想定して執筆要項に沿ってください。これらを遵守できていない場合は投稿を拒否もしくは修正を求めます。

2) 投稿方法

投稿は編集委員会宛にメールで提出してください。

提出の際には、テンプレートファイルに沿って作成した論文ファイルと、メール内に以下に記載する項目を提出論文に該当するよう記載して送ってください。

- 責任著者の氏名と職場住所、メールアドレス、電話番号の記載
- 投稿掲載にあたり共著者の許可は得ていますか（はい／いいえ）
- 論文は最新の投稿規定と執筆要項の内容に沿っていますか（はい／いいえ）
- 論文投稿に関する倫理指針を十分に確認し遵守できていますか（はい／いいえ）
- 利益相反として開示する内容がありますか（はい／いいえ）

はいの場合は利益相反内容を文書にて記載してください。また論文内の参考文献の項目の手前に記載する必要があります。

14. 問い合わせ

〒781-5103 高知県高知市大津乙 2500-2 高知健康科学大学／土佐リハビリテーションカレッジ
健康とリハビリテーション科学 編集委員 Tel：088-866-6119 Fax：088-866-6120
E-mail：journal@ko-ken-k3.ac.jp

執筆要項

1. 構成

「標題，著者情報，要旨，キーワード（3つ），本文，謝辞，利益相反の開示，参考文献，英語タイトル，英語著者情報，英語要旨」を記載してください。要旨は目的・方法・結果・結論の順番で記述し300文字以内（英語要旨は300words前後）とし，本文ははじめに・方法・結果・考察・結論で構成すること。文字数等に関しては投稿規定「7. 論文の種類と長さ」を参考にしてください。

2. 書式等

- 1) テンプレートファイルに沿って作成してください。
- 2) 本文中の日本語書体はMS明朝，アルファベットと数字はCenturyで文字サイズは9ポイントとします。英語タイトル，英語著者情報，英語要旨はテンプレートに設定されている文字サイズで記入してください。
- 3) 現代かなづかい・算用数字とし，国際単位系（SI単位）記号を用いてください（例：kg, cm, Hz, dBなど）。
- 4) 外国人の人名は，原語で表記してください。
- 5) 略語を用いる場合は，最初にフルスペル（略語）で記載し，その後の文章は略語を使用する。（例）Functional Reach Test (FRT)
- 6) 句読点は全角で「，」「。」とします。
- 7) 参考文献の記載方法はAMA（American Medical Association）スタイルとする。

●本文内での引用方法

➢本文中の引用は，引用順に上付き番号を付ける。

参考文献が1本の場合 例：〇〇が報告されている¹。

参考文献が2本以上の場合 例：〇〇という結果が示された^{2,3}。

●論文の場合

➢著者名，論文タイトル，雑誌名（省略形），発行年；巻（号）：掲載ページ，DOI（ある場合）

➢例1：木下亮平，長城晃一，石附智奈美，宮口英樹．地域在住高齢者における主観的幸福感と活動の参加状況および基本属性の関連．作業療法．2021；40（1）：34-41．

➢例2：Ishii R, Smith SA, Iwanaga R, Xiang J, Canuet L, Miyaguchi H, Inadomi H. Editorial: Translational research of occupational therapy and neurorehabilitation. Front Hum Neurosci. 2024;18:1432073. doi:10.3389/fnhum.2024.1432073

●書籍の場合

➢著者名，書籍タイトル，版（2版以上の場合），出版地：出版社；出版年。

➢例：宮口英樹．認知症をもつ人への作業療法アプローチ．改定第2版．東京：メディカルビュー；2019．

●インターネットから引用の場合

➢組織名（または著者名），レポートタイトル，出版元；発行年，アクセス日，URL。

➢例：厚生労働省．チーム医療の推進について．チーム医療推進に関する検討会・報告書；2010. Accessed March 19, 2010. <https://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/03/dl/s0319-9a.pdf>

- 8) 図・表は以下に準じて作成してください。

●文字サイズは8ポイント，書体はMS明朝とします。縦の長さはWordファイルの半分以下で横の長さは横1ページに収まるようにしてください。

●図は白黒で印刷されるので，白黒でも区別がつく鮮明なものを準備してください。

●図・表は該当ページの最上段に持ってくるようにしてください。

●図・表はすべて図・表の番号とタイトルをつけ，図は説明文も入れてください。

●引用・転載の図・表は、それぞれの出典を明記してください。

3. 倫理上の配慮

投稿規定の「4. 倫理的事項」「5. 利益相反」を遵守すること。

4. 引用・転載について

論文作成にあたっては、著作権についての配慮を行ってください。論文中に他の著作物からの引用を行う時には、出典を文献リストに記載し、その文献番号を該当箇所に明記してください。また、引用の範囲を超えた「転載」には、著作権者やその著作物の出版社の許諾が必要です。論文が掲載されるために必要となる「転載」についての手続きは、著者が責任を持つこととします。